

弥生時代の 備後北部

講演
無料

— 四隅突出型墳丘墓と交流 —

弥生時代の豪族の墓である四隅突出型墳丘墓は、中国山地が発祥の地とされる特殊な形状の墳丘墓で、庄原をはじめ中国地方で広く確認されています。
この墳丘墓の年代と分布から、古代の備後北部の様相と交流を探ります。

とき

2018年 3月17日(土)

ところ

時悠館 研修室

14:00~15:30

講師

くわ ばら たか ひろ
桑原隆博 さん

比治山大学非常勤講師・元広島県立歴史民俗資料館館長

<経歴>

1952(昭和27)年生、広島県三次市吉舎町出身。明治大学文学部卒。広島県公立学校教諭を経て、広島県教育委員会文化課にて文化財保護事務に従事。広島県立歴史民俗資料館館長(兼)広島県立みよし風土記の丘所長、広島県教育委員会文化財課課長(兼)広島県立埋蔵文化財センター所長を歴任。2013(平成25)年広島県教育委員会退職。その後、公益財団法人広島県教育事業団に勤務。現在、三次市教育委員会勤務、比治山大学非常勤講師。

<主な著作>

「弥生墓制の地域性—四隅突出型墳丘墓の新展開—」『季刊考古学』第92号(雄山閣)2005年
「弥生時代の墓制—中国・四国地方の弥生墓—」『原始・古代日本の墓制』(同成社)1991年
「古式古墳群について—三次地域における様相—」『考古学から見た地域文化—瀬戸内の歴史復元—』(溪水社)1999年
「四隅突出型墳丘墓」『原始・古代の日本海文化』(同成社)2000年



注口付きの脚付付鉢形土器
(佐田谷3号墓出土土器)



佐田谷墳墓群(庄原市高町)

時悠館春休み特別展 第28回中国山地豊かな自然写真展

とき 3月11日(日)~4月3日(火)

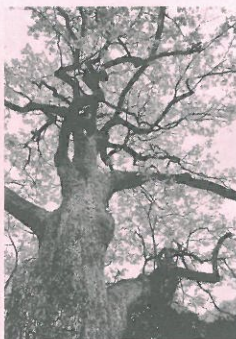
里山の自然と民俗行事を写した作品34点を展示します。
共催/庄原市立比和自然科学博物館



推薦/庄原市長賞「マイヅル草群落」 此下勝士



特選「山粧う」 沖田真弓



特選「老樹(西条柿)の芽吹き」 足田克己



特選「転がる」 荒木忠義



帝釈峡 まほろばの里

時悠館

オートキャンプ場併設 1泊2日 2,000円から

入館料/高校生以上400円(20名以上320円)/中学生以下無料
開館時間/9:00~17:00 休館日/水曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/4)

〒729-5244 広島県庄原市東城町帝釈未渡1909

TEL(08477)6-0161 FAX(08477)6-0162

<http://jiyuukan.ec-net.jp/>

庄原市博物館キャンパスメンバーズ制度 - 学生証・職員証の提示で入館料免除 -

